

- 令和3年3月、これまでの地球温暖化対策（緩和策）に加え、既に起こりつつある気候変動への適応（適応策）を推進するため、「緩和」と「適応」を車の両輪とした対策の推進を目的に、「岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画（区域施策編）」を策定。その後、令和5年3月に同計画を改訂。
- 懇談会では、計画策定や施策の実施状況に係る意見を伺っている。

- 脱炭素化の技術革新や新技術普及のスピードは非常に速いことから、計画に掲げた目標の達成に向け、常に事業を検討・見直していくことが必要
 - ・ 適応策にあっては、県と岐阜大学が共同で設置した「岐阜県気候変動適応センター」において、県の各部局と大学の先生方による共同研究を実施し、適応策を検討・対応している

- 緩和策にあっても、事業者や学識経験者の方々から最新の状況や将来見込みをお伺いしながら、今何をすべきか、専門的見地からご意見を伺いたい。
(ワーキンググループのような形式を想定)

新規事業の立ち上げ、既存事業の見直しにつなげる